

一般質問通告順序表

No.1 (令和2年3月3日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	濱田 尚	市長 教育長	<p>1. 地域おこし協力隊の現状と課題について 総務省が平成21年度に創設した地域おこし協力隊は、今年度で11年目を迎え、平成30年度の隊員数は全国で5,530人、本市もこれまで6名受け入れ、現在2名の方が活躍中である。 (1) これまで受け入れた地域おこし協力隊の活動や効果(成果)並びに課題についてどのように考えているか。 (2) 任期終了における定住や起業などの相談や支援体制は十分か。 (3) 今後の協力隊の受け入れ計画や方向性はどのように考えているか。</p> <p>2. 串木野鉱山の歴史と発信について 日本遺産として認定された「串木野麓」と歴史的に繋がりの深い串木野金山を、有形・無形の文化財としてパッケージ化し活用する中で、情報発信や伝承、地域の活性化に取り組む必要がある。 (1) 歴史的資料の保管状況と資料の活用策について伺う。 (2) 金山の歴史資料を集約して充実を図る考えはないか。</p>
2	東 育代	市長	<p>1. 医療費(診療費・薬剤費)の抑制について (1) 国保加入者を対象に様々な取組がなされているが、他自治体と比較すると医療費が高い。要因と課題について伺う。 (2) 医療費と国民健康保険税のしくみについて、加入者が理解しやすい取組も大切と思うがどうか。</p> <p>2. 市職員の育児休業について (1) 男性の育児参加は少子化などの社会課題を解決する契機になると言われるが、本市男性職員の育児休業取得の現状はどうか。 (2) 育児休業が取得しやすい環境づくりについて伺う。</p> <p>3. 公共施設のネーミングライツ(命名権)について 厳しい財政事情から命名権売却に取り組む自治体が増えているが、本市の取組について伺う。</p>
3	中村 敏彦	市長 教育長	<p>1. 災害に強いまちづくりについて (1) 昨年の「7月豪雨」による本市を含む県内の豪雨災害および9月、10月に襲来した台風15号、19号による関東地方を中心にした甚大な被害から、何を教訓にして今後の整備方針に生かすのか。 (2) 防災計画において避難所の場所や収容人数等が示されているものの、市民に理解がなされているか疑問な点もあるため、避難所への誘導標識の設置はできないか。 (3) 昨年12月議会において、複数の同僚議員が「避難所整備」について質問し、「整備を継続する」との答弁であったが、プライバシー保護やトイレの数等の整備基準は検討されているか。 (4) 改めて、消防力を含む災害対応の体制整備について伺う。</p> <p>2. 子育て支援制度について (1) 「未来の宝子育て支援金制度」を含む子育て支援制度をどのように検証されたのか。特に、「未来の宝子育て支援金制度」による出生率への効果はどうであったか伺う。 (2) 長崎鼻公園の整備方針が提案されているが、子育て世代の方々の要望を、整備方針にどのように反映するのか、市長の見解を伺う。</p>

			<p>3. 子どもを事故から守る交通安全対策について</p> <p>(1) 2月12日、国道270号で幼い命が奪われた交通事故から5年が経過し、昨年5月には滋賀県大津市で16人の保育園児と職員の列に車が突っ込み、2人の幼い命が奪われた。国道270号の事故以降、本市の交通事故状況はいかがか。</p> <p>(2) 子どもたちが信号待ちする交差点の安全対策として、ガードレールもしくは安全ポールの設置が進められているが、本市の取組状況を伺う。</p> <p>(3) 浜ヶ城及び迫踏切の改良について、平成29年3月議会で「JRに要望を継続する」との市長答弁であったが、その後の状況を伺う。</p>
4	原口 政敏	市長 教育長	<p>1. かがしま国体の宿泊施設について</p> <p>(1) 本市の宿泊施設は充分か。</p> <p>(2) 本市に宿泊される方は何名位を想定しているか。</p> <p>(3) 宿泊施設が不足する場合、市民の住居をお願いすべきではないか。</p> <p>2. 新型コロナウイルスについて</p> <p>非常時に備えて、医療機関や国・県との連携は大丈夫なのか。また、マスクや消毒液の備蓄はできているか。</p> <p>3. 小中学生のスマホ使用について</p> <p>香川県議会が4月の制定を目指している「ネット・ゲーム依存症対策条例（仮称）」、本市も何らかの対策をすべきではないか。</p> <p>4. 小学生の自転車走行について</p> <p>本市でも小学生の交通事故が起こったが、交通ルールなど正しく指導すべきではないか。</p>
5	吉留 良三	市長	<p>1. 農業振興について</p> <p>(1) 新規就農者などへの支援について</p> <p>①有機農業など付加価値の高い農産物生産を目指すべきではないか。</p> <p>②有機JAS認証制度の認証促進を目指すべきではないか。</p> <p>③環境保全型農業直接支払制度の活用を促進すべきではないか。</p> <p>(2)農業振興の体制強化について、農林水産業担当者の技術指導や集落サポート体制等の体制強化をすべきではないか。</p> <p>(3) 耕作放棄地対策について</p> <p>①対象地を選定し、整地して活用すべきではないか。</p> <p>②中間管理機構の基盤整備事業など活用すべきではないか。</p> <p>2. 地域振興について</p> <p>観光振興とリンクした農業や地域振興を図るため、中山間地周遊ルートを設定してはどうか。</p> <p>3. 地域公共交通体制の確保について</p> <p>いきいきタクシー再編の現状と課題について伺う。</p>

一般質問通告順序表

No.2 (令和2年3月4日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	江口 祥子	市長	<p>1. 防災・減災に向けた取組について</p> <p>(1) 災害時の備蓄品に対する女性や子育て家庭の視点に立った考え方や液体ミルクの検討について伺う。</p> <p>(2) 避難所運営ゲームHUGを用いた訓練の実施について伺う。</p> <p>(3) 国土強靱化地域計画の策定について伺う。</p> <p>(4) Net119 緊急通報システムの導入について伺う。</p> <p>2. ヘルプカードの今後について</p> <p>(1) ヘルプカードが令和元年7月1日から導入されたが、現在までの進捗状況について伺う。</p> <p>(2) スムーズな支援に繋げるための具体的な周知と配布について伺う。</p> <p>(3) ヘルプカードの今後の課題について伺う。</p>
2	中里 純人	市長 教育長	<p>1. 多様化社会について</p> <p>(1) 多様化する「人権問題」についての認識を伺う。</p> <p>(2) 人権を尊重し、差別や偏見のない社会の実現に向けての取組はどうか。</p> <p>(3) 性的少数者（LGBT）への理解・配慮にどう取り組むのか。</p> <p>(4) 「パートナーシップ制度」導入について、検討すべきではないか。</p> <p>(5) クラスに一人はいるといわれる性的少数者（LGBT）の生徒の自殺防止のために、どう取り組むのか。</p> <p>2. 食のまちづくりについて</p> <p>(1) 令和2年度で「食のまちづくり基本計画」10年目となるが、施策の達成状況はどうか。</p> <p>(2) いちき串木野ブランドの確立に向けて、どう取り組んできたのか。</p> <p>(3) 「食育推進計画」の中間評価への検証に向けて、今から取組を始めてはどうか。</p> <p>(4) 食のまちづくり推進のために、「食のまち推進課」と「ふるさと納税課」の二つに分けてはどうか。</p> <p>3. 新型コロナウイルス対策について</p> <p>(1) 現状の認識について伺う。</p> <p>(2) 感染防止や対応窓口への連絡方法など、積極的に情報提供すべきではないか。</p> <p>(3) 医療機関の受入体制並びに感染者の行動歴の公表についてはどうか。</p>
3	松崎 幹夫	市長	<p>1. 人口減少対策について</p> <p>(1) 全国的に人口減少社会に突入しているが、本市の人口減少も予想を超えるスピードで加速している。これまで様々な取組が行われているが、更なる対策が必要と考えるが如何か。</p> <p>(2) 長期的にみると若者や子育て世代が増えることが人口減少を緩やかにしていく。安心して子どもが遊び学べるまちを今の若い世代が求めているようだが、公園や子育て施設の整備は考えていないのか。</p>

			<p>2. 消防団の活動について</p> <p>(1) 消防団員の減少により、思うような活動が出来なくなりつつある。現在の団員数、団員の確保や勧誘策について伺う。</p> <p>(2) 消防団の運営や活動を活性化するために、OB団員の活用は出来ないか。</p> <p>3. 農業の取組について</p> <p>(1) 市内全域で耕作放棄地が増えてきているが、どのような対策をとり、成果はどのようなか。</p> <p>(2) 羽島地区のバレイショは品質や味も良く、人気の農産物です。近年、生産者の高齢化が進み、耕作放棄地が多くみられる。現在の作付状況（生産量）と今後の展望を伺う。</p>
4	西別府 治 市長		<p>1. 既存ストック串木野新港を活用した着地型観光開発について</p> <p>(1) 串木野新港の機能と実績について伺う。</p> <p>(2) 地方港湾の今後の方向性について伺う。</p> <p>(3) クルーズ船寄港による地域の活性化について伺う。</p> <p>(4) 鹿児島港国際旅客船拠点形成港湾との連携について伺う。</p> <p>2. コンパクトシティプラスネットワーク構想の立地適正化計画について</p> <p>(1) 総合戦略 2015 での 2040 年の人口や高齢化の推計について伺う。</p> <p>(2) 立地適正化計画の位置づけと策定目的について伺う。</p> <p>(3) 本市の立地適正化の進捗状況について伺う。</p> <p>(4) 「居住誘導区域」や「都市機能誘導区域」が設置されるが本市独自の区域設定について伺う。</p> <p>(5) 目標年次や目標値の設定と計画の評価方法について伺う。</p>
5	田中 和 矢 市長 教育 長		<p>1. 洪水ハザードマップ作成について</p> <p>集中豪雨等による河川氾濫時に市民の命を守るために、未だ作成されていない浸水想定区域の「洪水ハザードマップ」を速やかに作り、市民に提供すべきではないか。</p> <p>2. 公共施設の管理運営について</p> <p>(1) 図書館等の市直営化が予定されているが、運営の方法や方針にどのような変化があるのか。</p> <p>(2) 木原墓地の整備について、住民の高齢化で腰やヒザの痛み等で墓参りに大変苦労しているとの声が多くある。手すりの設置、駐車場の整備ができないか伺う。</p> <p>3. 補助金の削減について</p> <p>財政難や交付税の減額などで各種団体等への補助金見直しが進められている。活動の目的や実績を正しく公正に評価と精査をし、その必要性や有益性を見極めて実施されたのか伺う。</p> <p>4. 一般心配ごと相談について</p> <p>寄せられる相談の特徴的な傾向、それに対する対応、成果や実績はどのようなか。</p>